

**TOSHIBA**

# 2021年度 第3四半期決算

2022年2月14日  
株式会社 東芝  
代表執行役専務 CFO

**平田 政善**

# 注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

# 今回ご説明のポイント

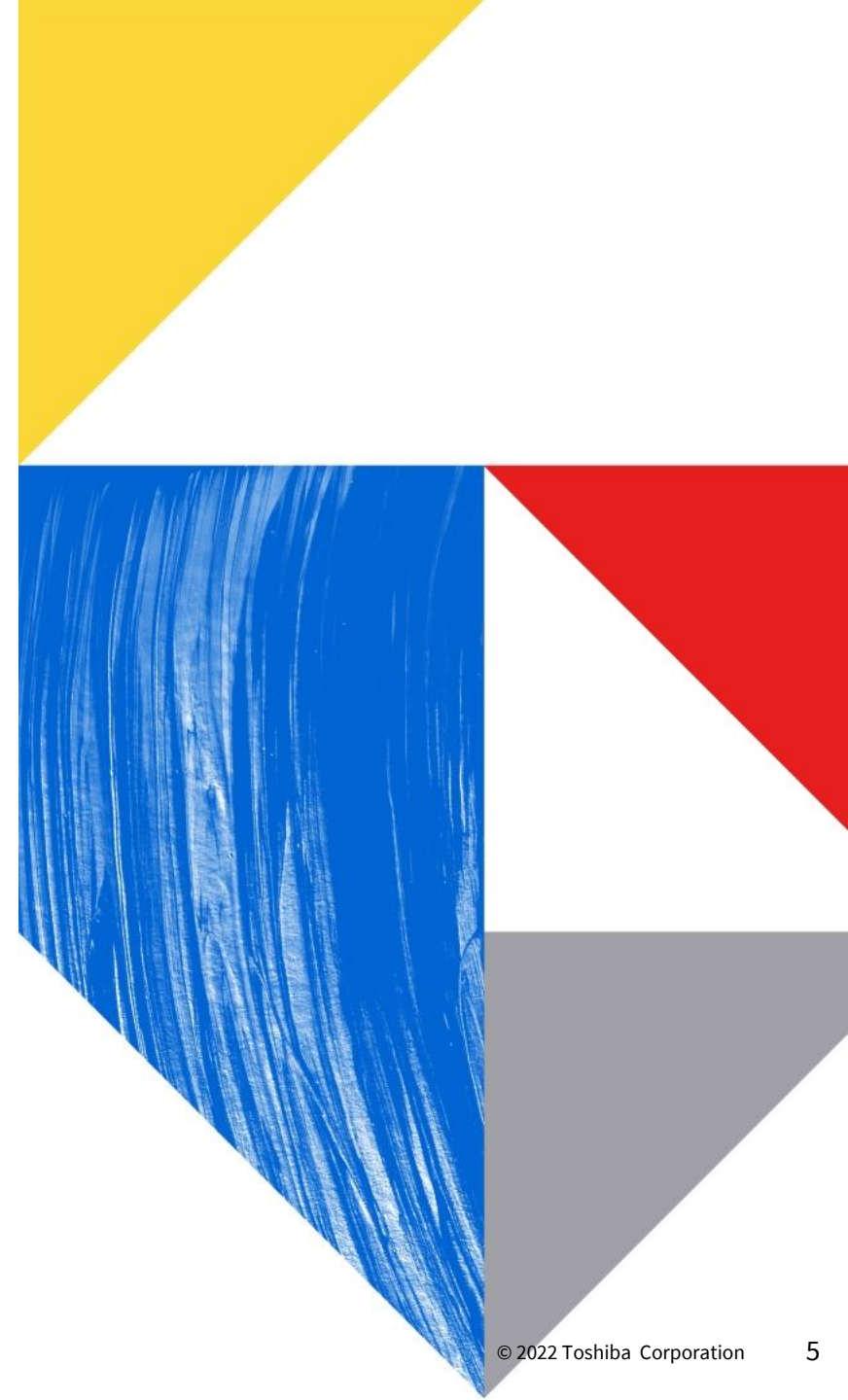
- 全事業セグメントで増収、半導体やエネルギー事業を中心に増益
  - 売上高 20/1-3Q 2兆995億円 → 21/1-3Q 2兆3,551億円 (対前同+2,556億円)
  - 営業損益 20/1-3Q 240億円 → 21/1-3Q 876億円 (対前同 +636億円)
- フリー・キャッシュ・フローは対前同で改善、受注高も堅調に推移
  - フリー・キャッシュ・フロー 20/1-3Q 181億円 → 21/1-3Q 840億円 (対前同+659億円)
  - 受注高 対前同+11%増加
- 素材・輸送費高騰影響、半導体不足影響の更なる顕在化により営業損益の21年度業績予想を変更
  - 営業損益 前回予想 1,700億円 → 今回予想 1,550億円 (対前回▲150億円)

# 本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント業績
- 03 補足説明事項
- 04 2021年度業績予想

# 01

## 全社業績



# 損益項目

## 対前同で増収、営業損益および当期純損益ともに増益

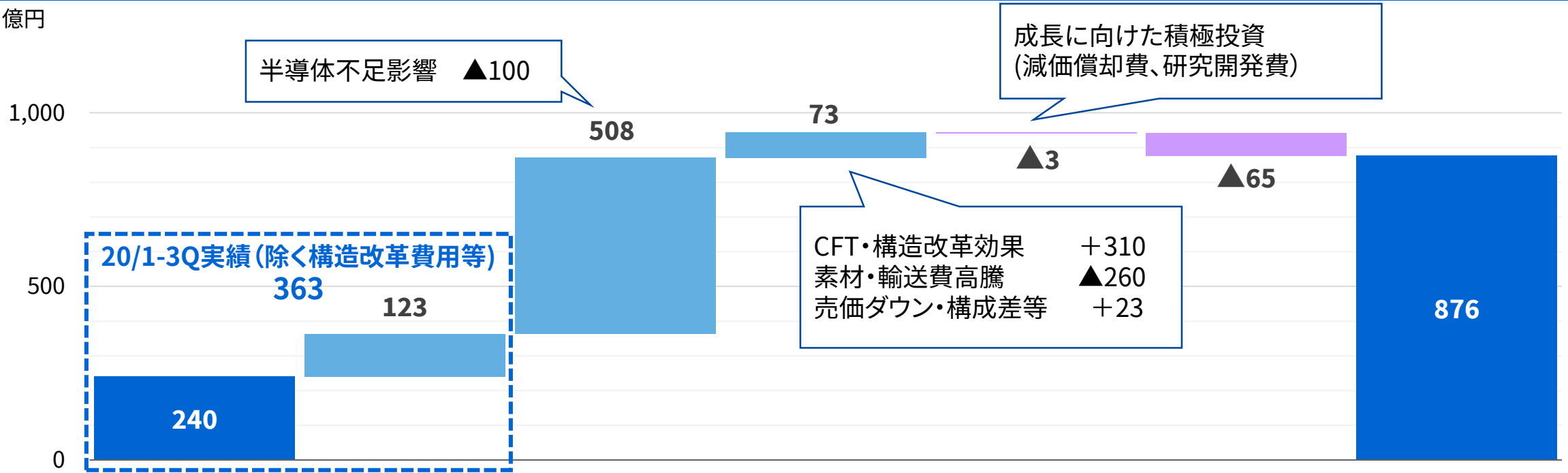
	20/1-3Q	21/1-3Q	差	主な差異要因
売上高 伸長率	20,995	<b>23,551</b>	+2,556 +12%	(↑) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、ビルSL、デジタルSL デバイス&ストレージSL、リテール&プリンティングSL、為替影響 +604 (↓) その他
営業損益 ROS	240 1.1%	<b>876</b> <b>3.7%</b>	+636 +2.6%pt	(↑) エネルギーシステムSL、デジタルSL、デバイス&ストレージSL リテール&プリンティングSL、為替影響 +112 (↓) インフラシステムSL、その他
EBITDA EBITDAマージン	※1 876 4.2%	<b>1,524</b> <b>6.5%</b>	+648 +2.3%pt	
税引前損益	733	<b>1,521</b>	+788	(↑) 営業損益 +636 営業外損益 +152
当期純損益 一株当たり当期純損益 発行済株式数（千株）	436 96.15円 ※2 453,599	<b>1,149</b> <b>259.60円</b> <b>442,678</b>	+713 +163.45円 ▲10,921	
期中平均為替レート （米ドル）	106円	<b>111円</b>	+5円	

単位：億円  
(↑):改善要因  
(↓):悪化要因

# 営業損益分析 (20/1-3Q→21/1-3Q)

素材・輸送費高騰や半導体不足の影響あるもコロナ影響の回復により対前同で増益

単位:億円



上期	31	78	402	▲6	▲3	▲52	450
3Q	209	45	106	79	0	▲13	426
1-3Q	240	123	508	73	▲3	▲65	876

20/1-3Q実績

20/1-3Q実績  
構造改革費用等

増減収等  
(増減収、固定費増減等)

収益力実質改善  
(CFT、構造改革効果、  
売価ダウン、素材高騰、  
構成差等)

成長固定費

構造改革費用等

21/1-3Q実績

# 営業外損益

## 持分法損益の改善等により対前同増益

単位:億円

	20/1-3Q	21/1-3Q	差
金融収支	▲12	▲8	+4
為替差損益	15	26	+11
固定資産売却損益	▲25	▲10	+15
有価証券売却損益	※1 256	19	▲237
訴訟和解費用	▲11	▲34	▲23
持分法損益	62	490	※2 +428
その他	※3 208	※4 162	▲46
合計	493	645	+152

※1:東芝クライアントソリューション(株) (現Dynabook(株))  
の株式譲渡に係る価格調整等 71  
東芝ロジスティクス(株) (現SBS東芝ロジスティクス(株))  
の売却益 166

※2:キオクシア持分法損益差 +403  
(20/1-3Q ▲17→21/1-3Q 386)

※3:東芝ロジスティクス(株) (現SBS東芝ロジスティクス(株))  
の売却に伴う評価益 92

※4:米国子会社清算に伴う外貨換算調整額の実現等



# キャッシュ・フロー／バランスシート項目

単位:億円  
 (↗):改善要因  
 (↘):悪化要因

	20/1-3Q	21/1-3Q	差	主な差異要因
フリー・キャッシュ・フロー	181	<b>840</b>	+659	
営業キャッシュ・フロー	845	<b>1,652</b>	+807 (↗) EBITDA	
投資キャッシュ・フロー	▲664	<b>▲812</b>	▲148 (↘) 前年同期における一過性要因による影響等 ※1	

	21/3末	21/12末	差	主な差異要因
株主資本	11,645	<b>10,980</b>	▲665 (↘) 当期純損益 +1,149	(↘) 自己株式取得 ▲1,000
株主資本比率	33.3%	<b>31.0%</b>	▲2.3%pt (↘) 配当 ▲990	
Net有利子負債 ※	▲78	<b>1,108</b>	+1,186 (↗) フリー・キャッシュ・フロー +840	(↘) 自己株式取得 ▲1,000
除く、オペレーティングリース債務	▲1,311	▲33	+1,278 (↘) 配当 ▲1,083	
Net D/Eレシオ	▲1%	<b>10%</b>	+11%pt	
除く、オペレーティングリース債務	▲11%	0%	+11%pt	

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

※1 東芝ロジスティクス(株)(現SBS東芝ロジスティクス(株))の株式譲渡に係る影響、当社の保有する投資有価証券の一部譲渡、東芝クライアントソリューション(株)(現Dynabook(株))株式譲渡に係る価格調整等

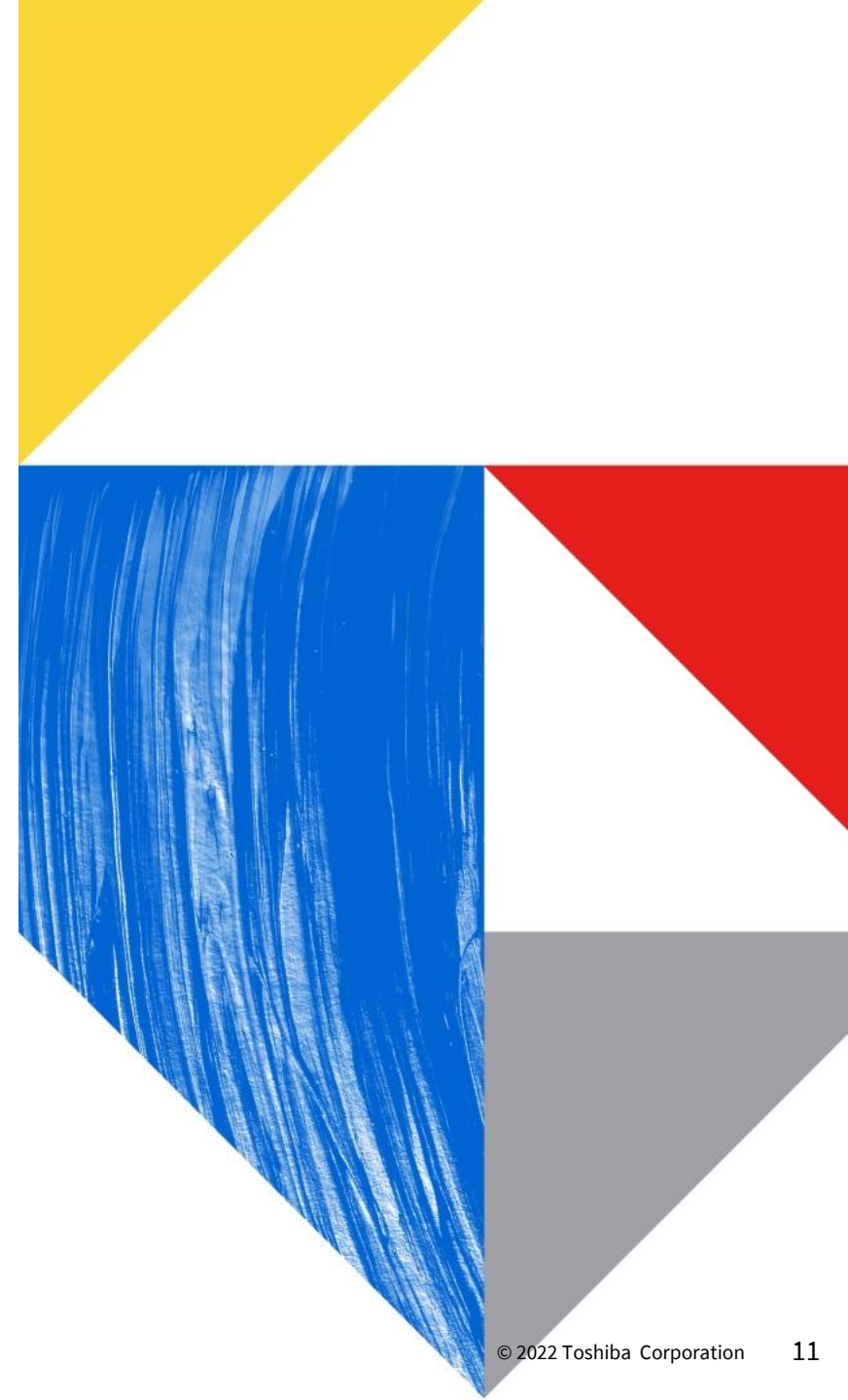
# 詳細項目

単位:億円

	20/1-3Q	21/1-3Q	差
売上高	20,995	<b>23,551</b>	+2,556
営業損益	240	<b>876</b>	+636
営業外損益	493	<b>645</b>	+152
税引前損益	733	<b>1,521</b>	+788
税金費用	▲206	<b>▲227</b>	▲21
非支配持分控除前当期純損益	527	<b>1,294</b>	+767
非支配持分帰属損益	▲91	<b>▲145</b>	▲54
当期純損益	436	<b>1,149</b>	+713
1株当たり当期純損益	96.15円	<b>259.60円</b>	+163.45円
フリー・キャッシュ・フロー	181	<b>840</b>	+659
	21/3末	21/12末	差
株主資本	11,645	<b>10,980</b>	▲665
株主資本比率	33.3%	<b>31.0%</b>	▲2.3%pt
純資産	13,045	<b>12,459</b>	▲586
Net有利子負債	▲78	<b>1,108</b>	+1,186
Net D/Eレシオ	▲1%	<b>10%</b>	+11%pt
期末日為替レート(米ドル)	111円	<b>115円</b>	+4円

# 02

## セグメント業績



# セグメント業績

単位:億円

		20/1-3Q	21/1-3Q	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,035	<b>3,615</b>	+580	(+19%)
	営業損益	▲62	<b>81</b>	+143	
	ROS	▲2.0%	<b>2.2%</b>	+4.2%pt	
インフラシステム ソリューション	売上高	4,142	<b>4,166</b>	+24	(+1%)
	営業損益	105	<b>69</b>	▲36	
	ROS	2.5%	<b>1.7%</b>	▲0.8%pt	
ビル ソリューション	売上高	3,918	<b>4,345</b>	+427	(+11%)
	営業損益	179	<b>179</b>	0	
	ROS	4.6%	<b>4.1%</b>	▲0.5%pt	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	2,975	<b>3,346</b>	+371	(+12%)
	営業損益	▲32	<b>87</b>	+119	
	ROS	▲1.1%	<b>2.6%</b>	+3.7%pt	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	5,168	<b>6,598</b>	+1,430	(+28%)
	営業損益	73	<b>558</b>	+485	
	ROS	1.4%	<b>8.5%</b>	+7.1%pt	
デジタル ソリューション	売上高	1,513	<b>1,561</b>	+48	(+3%)
	営業損益	91	<b>132</b>	+41	
	ROS	6.0%	<b>8.5%</b>	+2.5%pt	
その他	売上高	1,928	<b>1,608</b>	▲320	(▲17%)
	営業損益	▲176	<b>▲279</b>	▲103	
消去	売上高	▲1,684	<b>▲1,688</b>	▲4	
	営業損益	62	<b>49</b>	▲13	
合計	売上高	20,995	<b>23,551</b>	+2,556	(+12%)
	営業損益	240	<b>876</b>	+636	
	ROS	1.1%	<b>3.7%</b>	+2.6%pt	

※20年度実績はインフラシステムソリューションとその他で一部を組み替えております。

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		20/1-3Q	21/1-3Q	差	(伸長率)	主な差異要因
エネルギーシステム ソリューション	売上高	3,035	<b>3,615</b>	+580	(+19%)	為替影響 +79
	営業損益	▲62	<b>81</b>	+143		為替影響 +4 構造改革効果 +4
	ROS	▲2.0%	<b>2.2%</b>	+4.2%pt		
	セグメント別FCF		<b>337</b>			
発電システム	売上高	1,938	<b>2,287</b>	+349	(+18%)	
	営業損益	▲27	<b>71</b>	+98		(↗) 増収による増益
	ROS	▲1.4%	<b>3.1%</b>	+4.5%pt		
原子力 火力・水力	売上高	722	<b>778</b>	+56		(↗) 安全対策工事関連の工程進捗差等
	売上高	1,216	<b>1,509</b>	+293		(↗) 海外案件の規模差等
送変電・配電等	売上高	1,124	<b>1,365</b>	+241	(+21%)	(↗) 送変電・配電システム
	営業損益	▲10	<b>37</b>	+47		(↗) 増収による増益
	ROS	▲0.9%	<b>2.7%</b>	+3.6%pt		
その他	売上高	▲27	<b>▲37</b>	▲10		
	営業損益	▲25	<b>▲27</b>	▲2		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

単位:億円

		20/1-3Q	21/1-3Q	差	(伸長率)	主な差異要因
インフラシステム ソリューション	売上高	4,142	<b>4,166</b>	+24	(+1%)	為替影響 +34
	営業損益	105	<b>69</b>	▲36		為替影響 +1 構造改革効果 ±0
	ROS	2.5%	<b>1.7%</b>	▲0.8%pt		
	セグメント別FCF		<b>81</b>			
公共インフラ	売上高	2,292	<b>2,406</b>	+114	(+5%)	(↗) 社会システム事業の規模増 (↘) 電波システム事業の規模減
	営業損益	83	<b>129</b>	+46		(↗) 社会システム事業の増収による増益
	ROS	3.6%	<b>5.4%</b>	+1.8%pt		(↘) 電波システム事業の規模減による減収
鉄道・産業システム <sup>※1</sup>	売上高	2,279	<b>2,156</b>	▲123	(▲5%)	(↘) 産業システム事業の規模減
	営業損益	22	<b>▲60</b>	▲82		(↘) 産業システム事業の減収及び素材高騰影響、構造改革費用
	ROS	1.0%	<b>▲2.8%</b>	▲3.8%pt		(↘) 鉄道事業の海外案件コスト増による悪化
その他	売上高	▲429	<b>▲396</b>	+33		
ビルソリューション	売上高	3,918	<b>4,345</b>	+427	(+11%)	為替影響 +167 (↗) 昇降機 (国内、海外)、空調 (↘) 照明
	営業損益	179	<b>179</b>	0		為替影響 +38 構造改革効果 ±0
	ROS	4.6%	<b>4.1%</b>	▲0.5%pt		(↗) 空調 (↘) 昇降機 (国内、海外)、照明
	セグメント別FCF		<b>144</b>			

※1 終息事業の損失等を含む

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		20/1-3Q	21/1-3Q	差	(伸長率)	主な差異要因
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	5,168	<b>6,598</b>	+1,430	(+28%)	為替影響 +198
	営業損益	73	<b>558</b>	+485		為替影響 +49 構造改革効果 +106
	ROS	1.4%	<b>8.5%</b>	+7.1%pt		
	セグメント別FCF		<b>490</b>			
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	2,240	<b>2,685</b>	+445	(+20%)	(↑) (半) 車載を中心に市況回復
	営業損益	72	<b>381</b>	+309		(↑) (半) 増収による増益、構造改革効果
	ROS	3.2%	<b>14.2%</b>	+11.0%pt		
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	2,928	<b>3,913</b>	+985	(+34%)	(↑) (H) 工場稼働回復、大容量データセンター向け販売増
	営業損益	1	<b>177</b>	+176		(↑) (H) 増収による増益
	ROS	0.0%	<b>4.5%</b>	+4.5%pt		

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

(半) : ディスクリット、システムLSI

※2 : HDD、部品材料、転売等

(H) : HDD

# リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

		20/1-3Q	21/1-3Q	差	(伸長率)	主な差異要因
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	2,975	<b>3,346</b>	+371	(+12%)	為替影響 +118 (↑) (R)増収 (↑) (P)増収
	営業損益	▲32	<b>87</b>	+119		為替影響 +12 構造改革効果 +52
	ROS	▲1.1%	<b>2.6%</b>	+3.7%pt		(↑) (R)増益 (↑) (P)増益
	セグメント別FCF		<b>40</b>			
						(R):リテール事業 (P):プリンティング (ワークプレイス) 事業
		20/1-3Q	21/1-3Q	対前年	(伸長率)	主な差異要因
デジタルソリューション	売上高	1,513	<b>1,561</b>	+48	(+3%)	為替影響 ±0 (↑) 官公庁向けシステム案件
	営業損益	91	<b>132</b>	+41		為替影響 ±0 構造改革効果 ±0
	ROS	6.0%	<b>8.5%</b>	+2.5%pt		(↑) 増収による増益
	セグメント別FCF		<b>144</b>			

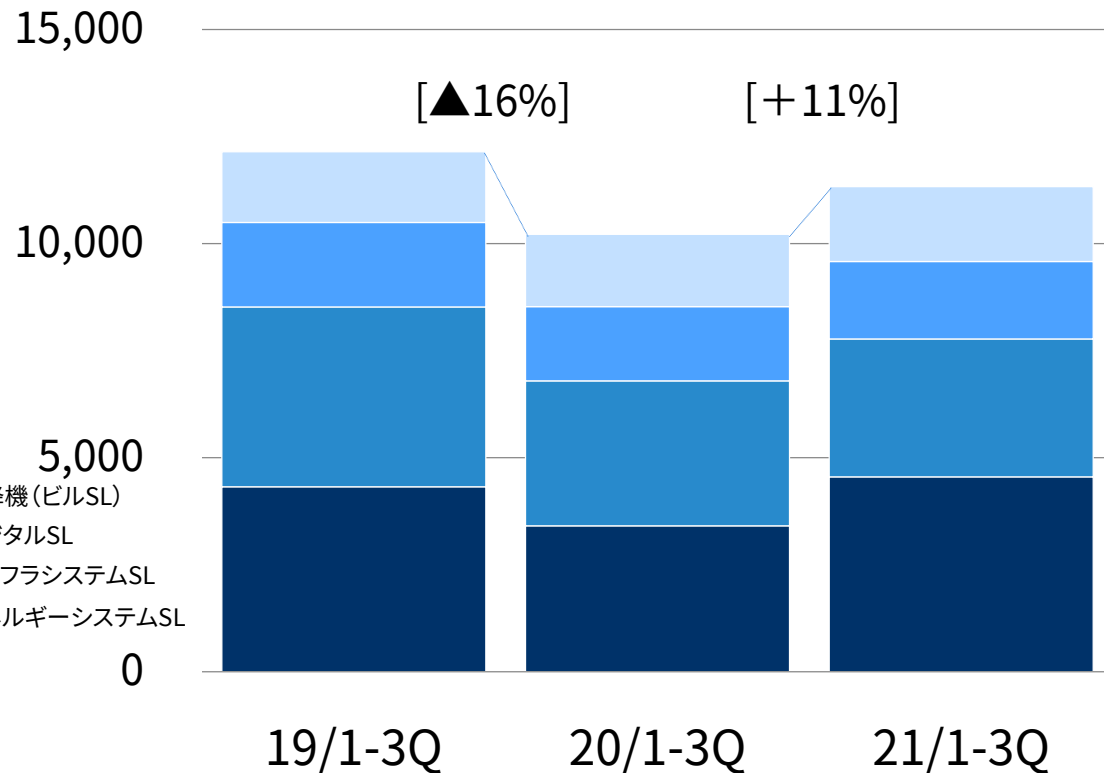


# 受注高 受注残 推移

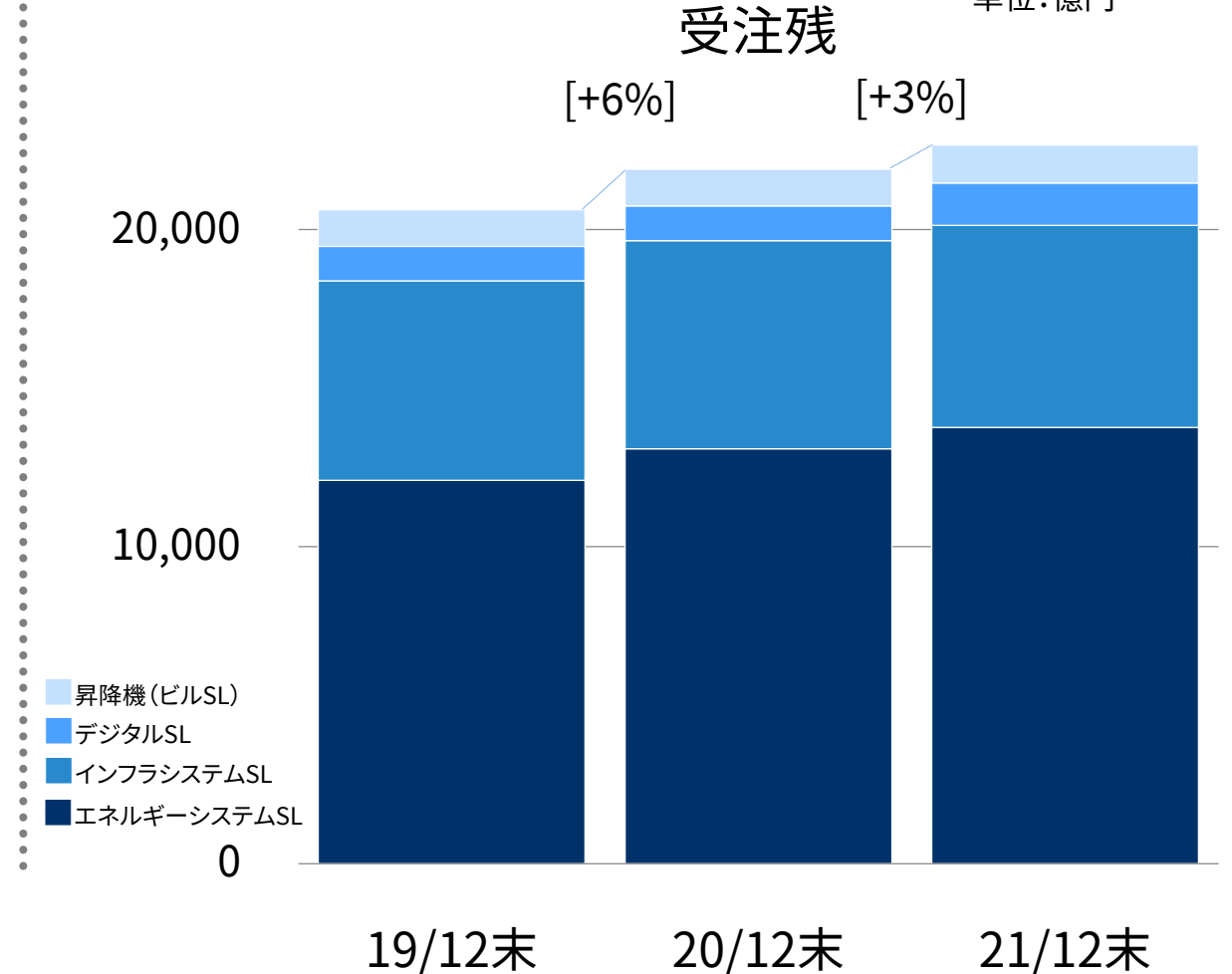
## 受注高は堅調に推移

単位:億円

### 受注高



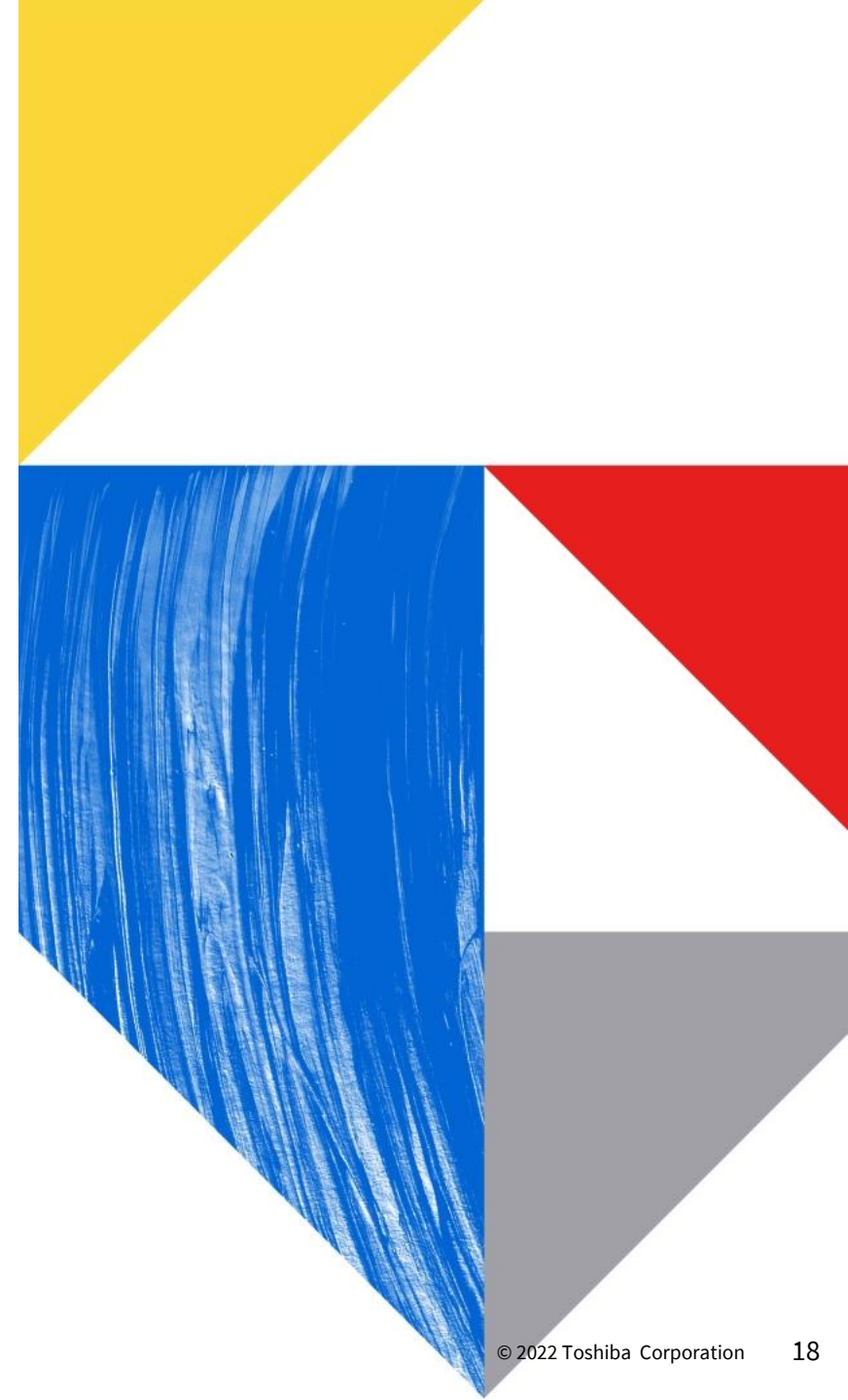
### 受注残



※”SL”はソリューションの略  
 ※エネルギーシステムソリューションにおける受注キャンセルとなった案件を除く  
 ※受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。  
 ※一部セグメントにおける集計対象の変更により、昨年度以前の実績値を変更しています。

# 03

## 補足説明事項



# キオクシア持分法損益

単位:億円

	持分法損益	(PPA影響) 内数	除特殊要因	
<b>20年度</b>	1Q実績	11	(▲75)	86
	2Q実績	17	(▲78)	95
	3Q実績	▲45	(▲78)	33
	4Q実績	▲37	(▲76)	39
<b>21年度</b>	1Q実績	43	(▲68)	111
	2Q実績	153	(▲68)	221
	<b>3Q実績</b>	<b>190</b>	<b>(▲74)</b>	<b>264</b>

(ご参考) ビット成長率・ASP推移

	ビット成長 (対前Q)	ASP (対前Q)	
<b>20年度</b>	1Q実績	1桁%台前半の減少	1桁%台前半の上昇
	2Q実績	20%台半ばの増加	1桁%台後半の下落
	3Q実績	1桁%台前半の増加	1桁%台後半の下落
	4Q実績	1桁%台半ばの増加	1桁%台後半の下落
<b>21年度</b>	1Q実績	1桁%台後半の増加	10%台前半の上昇
	2Q実績	10%台後半の増加	1桁%台半ばの上昇
	<b>3Q実績</b>	<b>1桁%台前半の減少</b>	<b>横ばい</b>

データ提供:キオクシア

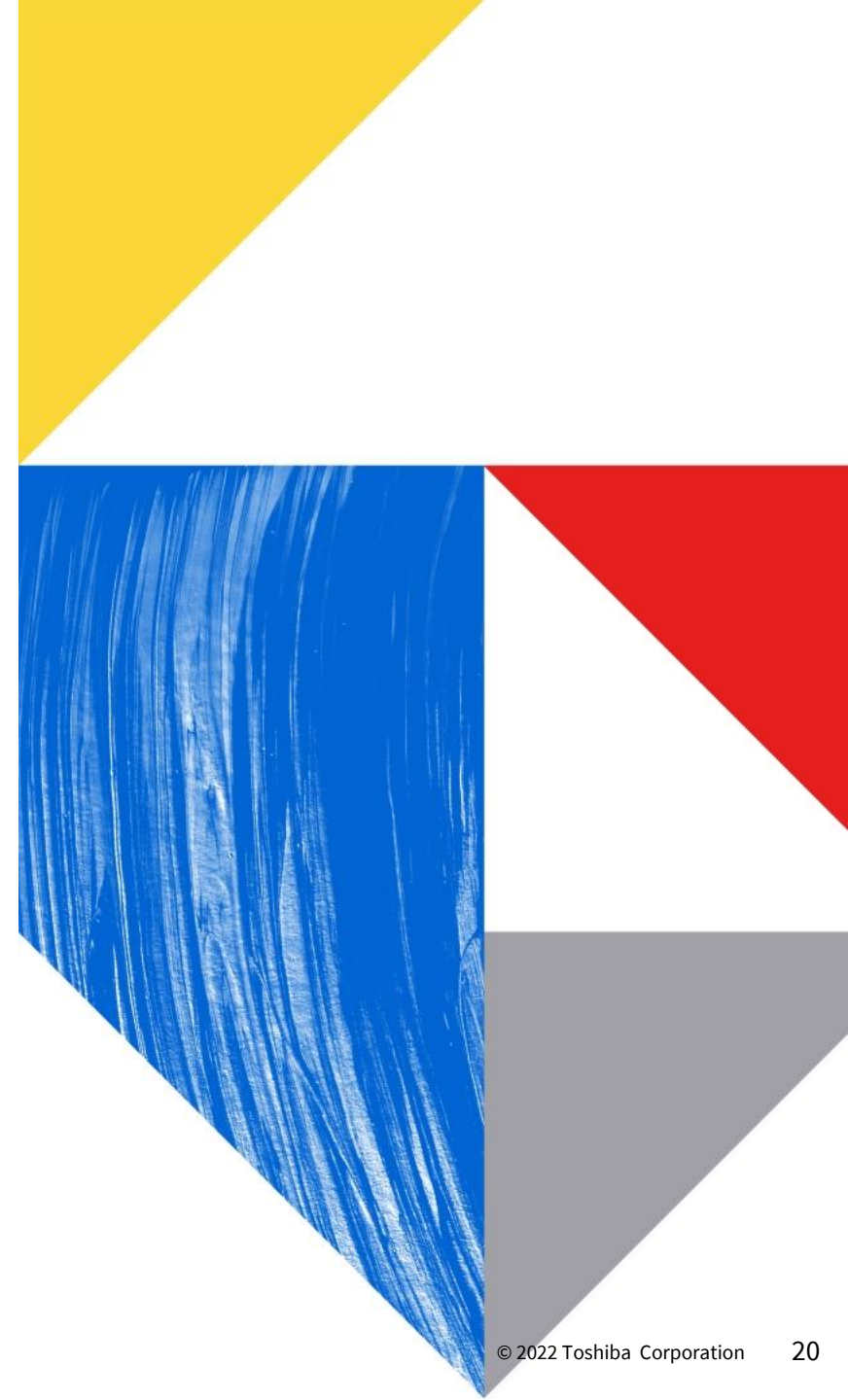
## [今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 21年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益について21/1-3Q実績のみを織り込み、将来見通しは織り込んでいない参考値を開示しています。

# 04

## 2021年度業績予想



# 業績予想 全社

単位:億円

	20年度 実績	21年度 業績予想	差	対前回予想		21/3末 実績	22/3末 見通し	差	対前回予想
売上高 伸長率	30,544	<b>33,400</b>	+2,856 +9%	▲100	株主資本 株主資本比率	11,645 33.3%	※ <b>11,100</b> <b>31.5%</b>	▲545 ▲1.8%pt	+200 +0.1%pt
営業損益 ROS	1,044 3.4%	<b>1,550</b> <b>4.6%</b>	+506 +1.2%pt	▲150 ▲0.5%pt	Net有利子負債 Net D/Eレシオ	▲78 ▲1%	※ <b>1,500</b> <b>14%</b>	+1,578 +15%pt	▲200 ▲2%pt
EBITDA EBITDAマージン	1,896 6.2%	<b>2,450</b> <b>7.3%</b>	+554 +1.1%pt	▲200 ▲0.6%pt	期末日為替レート (米ドル)	111円	110円	▲1円	+5円
継続事業 税引前損益	1,535	※ <b>2,050</b>	+515	+250	※21年度のキオクシア持分法損益について21/1-3Q実績のみを織り込み将来見通しを織り込んでいない参考値です。				
当期純損益	1,140	※ <b>1,500</b>	+360	+200					
ROE	10.8%	※ <b>13.2%</b>	+2.4%pt	+1.7%pt					
ROIC ※1	11.3%	※ <b>12.7%</b>	+1.4%pt	+1.5%pt					
フリー・キャッシュ・フロー	385	<b>600</b>	+215	+200					

※1 ROIC=(当期純損益-非支配持分帰属損益-支払利子×(1-税率))÷(純有利子負債+純資産)

# 業績予想 セグメント別

単位:億円

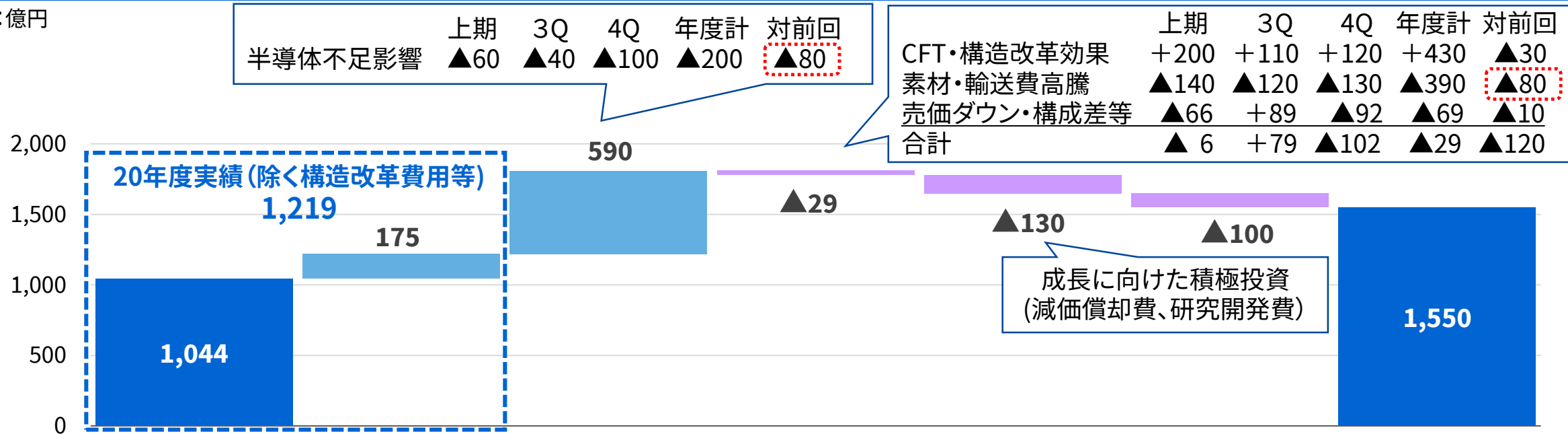
		20年度 実績	21年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	4,932	<b>5,700</b>	+768	(+16%)	+100
	営業損益	108	<b>330</b>	+222		+30
	ROS	2.2%	<b>5.8%</b>	+3.6%pt		+0.4%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	6,546	<b>6,500</b>	▲46	(▲1%)	▲300
	営業損益	478	<b>410</b>	▲68		▲80
	ROS	7.3%	<b>6.3%</b>	▲1.0%pt		▲0.9%pt
ビル ソリューション	売上高	5,452	<b>5,900</b>	+448	(+8%)	0
	営業損益	237	<b>280</b>	+43		▲50
	ROS	4.3%	<b>4.7%</b>	+0.4%pt		▲0.9%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,106	<b>4,600</b>	+494	(+12%)	+100
	営業損益	20	<b>150</b>	+130		0
	ROS	0.5%	<b>3.3%</b>	+2.8%pt		0.0%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,113	<b>8,600</b>	+1,487	(+21%)	▲100
	営業損益	125	<b>680</b>	+555		▲20
	ROS	1.8%	<b>7.9%</b>	+6.1%pt		▲0.1%pt
デジタル ソリューション	売上高	2,217	<b>2,300</b>	+83	(+4%)	▲100
	営業損益	199	<b>230</b>	+31		+20
	ROS	9.0%	<b>10.0%</b>	+1.0%pt		+1.2%pt
その他・消去	売上高	178	<b>▲200</b>	▲378		+200
	営業損益	▲123	<b>▲530</b>	▲407		▲50
合計	売上高	30,544	<b>33,400</b>	+2,856	(+9%)	▲100
	営業損益	1,044	<b>1,550</b>	+506		▲150
	ROS	3.4%	<b>4.6%</b>	+1.2%pt		▲0.5%pt

※20年度実績はインフラシステムソリューションとその他で一部を組み替えております

# 営業損益分析(20年度→21年度)

## 素材・輸送費高騰影響、半導体不足影響の更なる顕在化により通期見通しを変更

単位:億円



上期	31	78	402	▲6	▲3	▲52	450
3Q	209	45	106	79	0	▲13	426
4Q	804	52	82	▲102	▲127	▲35	674
年度計	1,044	175	590	▲29	▲130	▲100	1,550
対前回	±0	±0	▲110	▲120	+80	±0	▲150

20年度実績

20年度  
構造改革費用等

増減収等  
(増減収、固定費増減等)

収益力実質改善  
(CFT、構造改革効果、  
売価ダウン、素材高騰、  
構成差等)

成長固定費

構造改革費用等

21年度見通し

# Appendix



# 設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	20年度 実績	21年度 見通し	対前回予想 (11/12公表)	21/1-3Q 実績	21/3Q 実績	21/3Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	94	140	0	49	10	
インフラシステム ソリューション	159	180	▲10	82	17	
ビル ソリューション	124	170	▲20	71	25	
リテール&プリンティング ソリューション	43	70	▲20	44	17	
デバイス&ストレージ ソリューション	378	690	0	616	73	パワー半導体増産投資
デジタル ソリューション	13	20	▲20	14	1	
その他	305	530	+70	291	99	ITシステム刷新/次世代基幹システム
<b>合計</b>	<b>1,116</b>	<b>1,800</b>	<b>0</b>	<b>1,167</b>	<b>242</b>	
<b>投融資</b>	<b>101</b>	<b>120</b>	<b>20</b>			

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		20年度 実績	21年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
エネルギーシステム ソリューション	売上高	4,932	<b>5,700</b>	+768	(+16%)	+100
	営業損益	108	<b>330</b>	+222		+30
	ROS	2.2%	<b>5.8%</b>	+3.6%pt		0.4%pt
発電システム	売上高	3,287	<b>3,800</b>	+513	(+16%)	+107
	営業損益	209	<b>290</b>	+81		+32
	ROS	6.4%	<b>7.6%</b>	+1.2%pt		0.6%pt
原子力 火力・水力	売上高	1,576	<b>1,520</b>	▲56		▲156
		1,711	<b>2,280</b>	+569		263
送変電・配電等	売上高	1,686	<b>1,950</b>	+264	(+16%)	▲14
	営業損益	▲48	<b>90</b>	+138		▲27
	ROS	▲2.8%	<b>4.6%</b>	+7.4%pt		▲1.4%pt
その他	売上高	▲41	<b>▲50</b>	▲9		+7
	営業損益	▲53	<b>▲50</b>	+3		+25

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

単位:億円

		20年度 実績	21年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
インフラシステム ソリューション	売上高	6,546	<b>6,500</b>	▲46	(▲1%)	▲300
	営業損益	478	<b>410</b>	▲68		▲80
	ROS	7.3%	<b>6.3%</b>	▲1.0%pt		▲0.9%pt
公共インフラ	売上高	3,977	<b>4,000</b>	+23	(+1%)	+100
	営業損益	407	<b>410</b>	+3		+40
	ROS	10.2%	<b>10.3%</b>	+0.1%pt		+0.8%pt
鉄道・産業システム <sup>※1</sup>	売上高	3,185	<b>3,100</b>	▲85	(▲3%)	▲400
	営業損益	71	<b>0</b>	▲71		▲120
	ROS	2.2%	<b>0.0%</b>	▲2.2%pt		▲3.4%pt
その他	売上高	▲616	<b>▲600</b>	+16		0
ビルソリューション	売上高	5,452	<b>5,900</b>	+448	(+8%)	0
	営業損益	237	<b>280</b>	+43		▲50
	ROS	4.3%	<b>4.7%</b>	+0.4%pt		▲0.9%pt
昇降機		2,255	<b>2,330</b>	+75	(+3%)	▲31
照明	売上高	1,219	<b>1,200</b>	▲19	(▲2%)	▲51
空調		2,011	<b>2,400</b>	+389	(+19%)	+78

※1 終息事業の損失等を含む

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		20年度 実績	21年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,113	<b>8,600</b>	+1,487	(+21%)	▲100
	営業損益	125	<b>680</b>	+555		▲20
	ROS	1.8%	<b>7.9%</b>	+6.1%pt		▲0.1%pt
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	3,133	<b>3,600</b>	+467	(+15%)	0
	営業損益	137	<b>460</b>	+323		0
	ROS	4.4%	<b>12.8%</b>	+8.4%pt		0.0%pt
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	3,980	<b>5,000</b>	+1,020	(+26%)	▲100
	営業損益	▲12	<b>220</b>	+232		▲20
	ROS	▲0.3%	<b>4.4%</b>	+4.7%pt		▲0.3%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

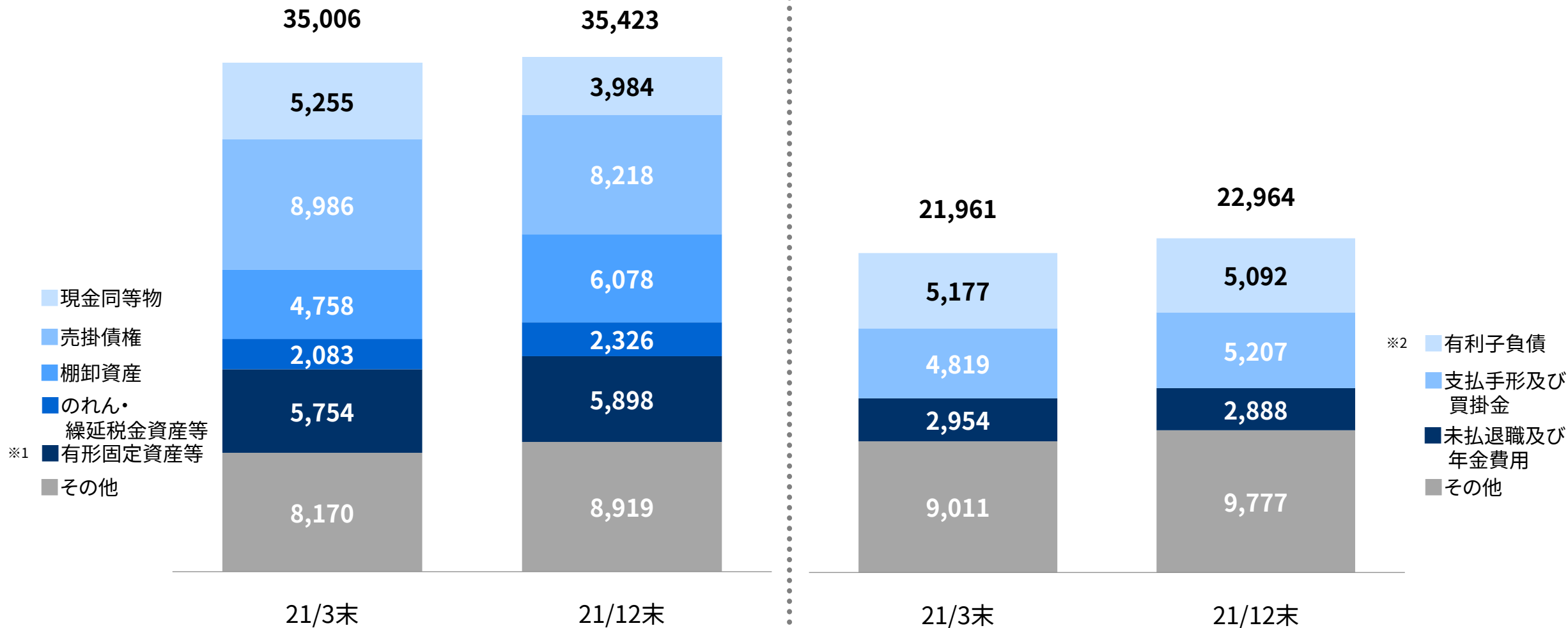
※2 : HDD、部品材料、転売等

# 貸借対照表

単位:億円

## 資産

## 負債



※1 オペレーティング・リース使用权資産 (21/3末1,197億円、21/12末1,116億円) を含みます。

※2 オペレーティング・リース債務 (21/3末1,233億円、21/12末1,141億円) を含みます。

**TOSHIBA**